

放牧草地における土壌侵食様式の分類 Classification of soil erosion patterns on grazing pastures

中尾 誠司^{1*}, 佐々木 寛幸¹, 山本 博²

NAKAO, Seiji^{1*}, SASAKI Hiroyuki¹, YAMAMOTO, Hiroshi²

¹ 畜産草地研究所 (農研機構), ² 近畿中国四国農業研究センター (農研機構)

¹Institute of Livestock and Grassland Science, NARO, ²Agricultural Research Center for Western Region, NARO

わが国では、現在、全国で約 900 の公共牧場と呼ばれる大規模草地が存在している。これらの草地の多くは傾斜地に立地しており、大規模なガリ侵食が発生している事例もある。放牧草地では、家畜行動などの影響により、普通畑などには見られない土壌侵食様式があると考えられるが、その実態に関する情報はほとんどない。

本研究では、北関東地域の公共牧場において、牧区内の土壌侵食状況を詳細に踏査・調査した。その結果、傾斜放牧草地での土壌侵食は、放牧家畜の蹄傷などに伴う草地面の裸地化・凹凸化とそれに起因した流水によるリル・ガリ化、雨水集中化に伴う土壌侵食溝の発達など、概ね 11 の様式に分類できることがわかった。

キーワード: 放牧草地, 土壌侵食

Keywords: grazing pasture, soil erosion